

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立伏見台小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒921 - 8151
石川県金沢市窪5-335

E-mail : fusimidai-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/fushimidai-e/

児童生徒数：男子 322 名 女子 335 名 合計 657 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

金沢市立伏見台小学校

〔はじめに〕

本校は、金沢市の南部の郊外にあり、昭和49年4月に開校した。全校児童は655名、教職員は45名である。

校区の東端には竹林を含む小高い山があり、サケが遡上する伏見川を始め、他の川や用水も流れている。北部や西部には幹線道路沿いに商業地域が広がり、近年、校区内を大きな道路も通り、自然環境は少しずつ変化している。しかし、田畑もまだ残されており、地域を素材とする学習環境には恵まれている。

23年度、ユネスコスクールの認定を受け、環境や伝統・文化、福祉、国際理解を主

世界伏見発見！

～かかわろう、地域と人と自然と～

1 ユネスコスクールとしての取り組み

1年生 「自然となかよし」

生活科を中心に、校地や学区内の自然を観察し、自然のものを使った遊びや創作活動を通して、身近な自然に対して関心をもつことができた。年間を通して同じ公園に行ったことで、四季の変化に気づくことができ、自然についての自分の思いを表現した。春には、オオバコ相撲や指輪作りなどをして遊ぶことができた。夏には、成長した植物や生き物を観察し、秋には、木の実や落ち葉を使った遊びを楽しんだ。「年長さんを迎える会」で年長児を招待してその遊びを教え、一緒に楽しく交流した。冬には、寒くて凍った裏庭や校庭の様子を探検し、楽しかったことを絵や文で表現した。また、昔遊びを名人さんに教えてもらい、楽しんだ後、この一年でできるようになったことを授業参観で保護者に向けて発表した。

2年生 「自分の町を知ろう」

生活科で自分たちの住む町を探検した。校区の自然に親しみ、地域の人とかかわることができた。

まず、児童は校区内のお気に入りの場所を友だちに紹介した。次に、お気に入りの場所の中から、特に探検したい場所を学年全員で考えた。探検したい場所が同じ友だちとグループを作り、探検計画を立てた。

探検計画では、児童はグループで探検のめあてや内容を決め、探検先への道順を確かめた。指導者は、探検先の商店や保護者に協力を依頼した。

探検後、児童はグループで気づきや思考を話し合い、文章と絵でまとめた。その後、学年全体で発表会を開き、他の場所を探検したグループの気づきや思考を聞き合った。最後に、児童は、授業参観で保護者に気づきや思考を伝える中で、地域には商店や住宅以外に公共施設があることに気づき、公共施設の役割について考えることができた。

3年生 「わくわく竹探検隊」「和菓子を学ぶ」

総合的な学習の時間を中心に、校区の竹林を生かした活動を体験した。また、社会科「工場の仕事」で学習したこととつなげて、地域の職人さんとの和菓子作り体験を通し、和菓子についても学習を深めた。

春には、地域の名産である筍を掘り、現地で竹林の手入れを習い、掃除などいろいろなお世話があることを知った。その後、筍の栄養について栄養教諭から学び、掘った筍をおいしくいただいた。夏には、笹竹を取りに行き、七夕飾りを作る予定であったが、今年度は天候に恵まれず、笹竹を取りに行くことはできなかった。秋には、竹を使った遊び・竹細工・竹の育ち方・筍料理などについて調べてまとめ、授業参観で発表会を開いた。地域の自然を生かしてきた知恵や工夫などについて、それぞれのグループが調べて考えたことを伝えることができた。冬には、竹箸作り名人の方々をお招きして、自分用と6年生へのプレゼント用の竹箸を作り、竹の良さを改めて実感していた。

和菓子で有名な金沢では、人々の思いや願いが和菓子に込められている。和菓子を食べ、地域の和菓子職人さんに和菓子作りを習うことで、和菓子作りの難しさと楽しさ、情緒豊かな生活風習の良さを味わい、職人さんの思いや願いも知ることができた。

4年生 「心のドアをノックして（視覚障害者）」

総合的な学習の時間を中心に、道徳「不思議なぼくの気持ち」と関連させて、視覚障害者との共生の仕方について考え、発信した。アイマスクの体験、視覚障害者を支える道具を調べる活動を行い、実際の視覚障害者とのふれ合いから、生活の仕方や困ったことや願いについて学んだ。その後、点字体験を経て、町のバリアフリーや図書館の工夫について調べ、視覚障害者との接し方についても教えてもらった。発表は学年内相互に行い、身体が不自由な方々が暮らしやすい身近な社会についての考えや、学んだことを伝えた。

5年生 「マイリバー伏見川」

総合的な学習の時間を中心に、近くを流れる伏見川が、自分たちの生活や生物にとって大切な川であり、その伏見川を守っていきたいという思いを強く持って活動をしようという学習を行った。川の生物を観察し、実際に伏見川の水質を調べたり、過去の伏見川の水質と比べたりすることで、どうして一度汚れたのかという疑問や、どのようにしてきれいになってきたのかという疑問を解決していく学習となった。その中で、下水処理にたずさわる方から話を聞いたり、今までの学習を学年や保護者の方に発表したりする活動を行った。

6年生 「世界と手をつなごう」

総合的な学習の時間を中心に、国際交流と金沢の歴史と伝統について学んだ。これらの活動によって国際社会の一員として自分たちができることを考えた。まず、国際交流員や留学生との交流会を行った。外国の遊びやじゃんけんを一緒に行ったり、その国の紹介をしてもらったりした。児童はそれぞれの国のあいさつや食文化などについて調べた。次に、金沢探訪を行い、日本（金沢）の文化（景観、食文化、伝統工芸、伝統文化）を見学し、金沢のよさを紹介するパンフレット作りをした。また、世界の現状（地雷・食糧問題）を知ること自分たちがしなければならぬことについて考えた。最後に、これまでの学習で分かったことやこれからの日本について考えたことを保護者に向けて発表した。

その他の取り組み

委員会活動として、「花いっぱい運動」「花検定」「伏見台ボランティアの日（リサイクル活動）」を行った。植物の水やりには「雨水タンク」も利用している。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）